

資料編



# 1 中央図書館機能拡充基本構想策定委員会設置要綱

---

平成28年11月4日  
28世教中図第237号

## (目的及び設置)

第1条 中央図書館は、第2次世田谷区立図書館ビジョンの基本理念である「知と学びと文化の情報拠点」としての各図書館・図書室等の中核であるとともに、自館の施設、設備においても、多くの機能を合わせ持った世田谷区の中央館としてふさわしい規模・設備を有するよう、機能の拡充が求められており、その基本構想の策定に向けた検討を進めることを目的として、中央図書館機能拡充基本構想策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (所掌事項)

第2条 委員会は、中央図書館の機能拡充に関し、次の事項について検討し、その結果を教育長に報告する。

- (1) 中央図書館の機能拡充に伴い、教育センター機能の移転が図られるため、教育センター跡地を中央図書館として活用することを前提とした基本構想を取りまとめること。
- (2) 改修基本計画及び設計に係る条件整理をすること。
- (3) その他、図書館サービスなどに関すること。

## (組織等)

第3条 委員会は、別表第1に掲げる者をもって組織する。

## (委員長)

第4条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により決定する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指定する委員がその職務を代行する。

## (会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員会は、過半数以上の委員の出席がなければ開催することができない。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めたときは、委員会以外の者の出席を求めて、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

## (事務局)

第6条 委員会の事務局は、教育政策部中央図書館に置く。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成28年11月4日から施行する。
- 2 この要綱は、本件基本構想の教育長への報告終了日をもって廃止する。

別表第1 (第3条関係)

選 出 区 分	人 数
学識経験者	2 人
地域活動団体等の代表	3 人
小中学校長	2 人
区職員	5 人
計	12 人

## 2 中央図書館機能拡充基本構想策定委員会名簿

選出区分	職名等	氏名	人数
学識経験者	日本大学教授 文教大学事務局参事	平野 英俊 戸田 あきら	2人
地域活動団体等の代表	「おはなし広場」代表 「山の木文庫」代表 「麦の会」代表	牧野 桂子 富本 京子 畑尾 朱志	3人
小中学校長	若林小学校長世小研・学校 図書館研究部長 桜木中学校長世中研・図書 館研究部会長	大久保 一彦 遠江 義智	2人
区職員	教育長 教育政策部長 副参事(学校経営推進担当) 教育相談・特別支援教育課長 施設営繕第一課長	堀 恵子 工藤 郁淳 青木 雄二 松田 京子 安間 正伸	5人
計			12人

事務局 中央図書館

### 3 中央図書館機能拡充基本構想策定委員会概要

---

平成28年12月14日（水）午後3時から

#### 第1回策定委員会

- ：委員会運営について
- ：第2次世田谷区立図書館ビジョンについて
- ：中央図書館機能拡充基本構想策定の取組みについて
- ：意見交換など



平成29年1月17日（火）午後3時から

#### 第2回策定委員会

- ：中央図書館固有の機能及び一般図書館機能について
- ：中央図書館に望まれる新たなサービス・機能のあり方について
- ：意見交換など



平成29年2月6日（月）午後3時から

#### 第3回策定委員会

- ：機能拡充（案）について
- ：機能拡充（案）に基づくゾーニング案について
- ：意見交換など



平成29年3月9日（木）午後3時から

#### 第4回策定委員会

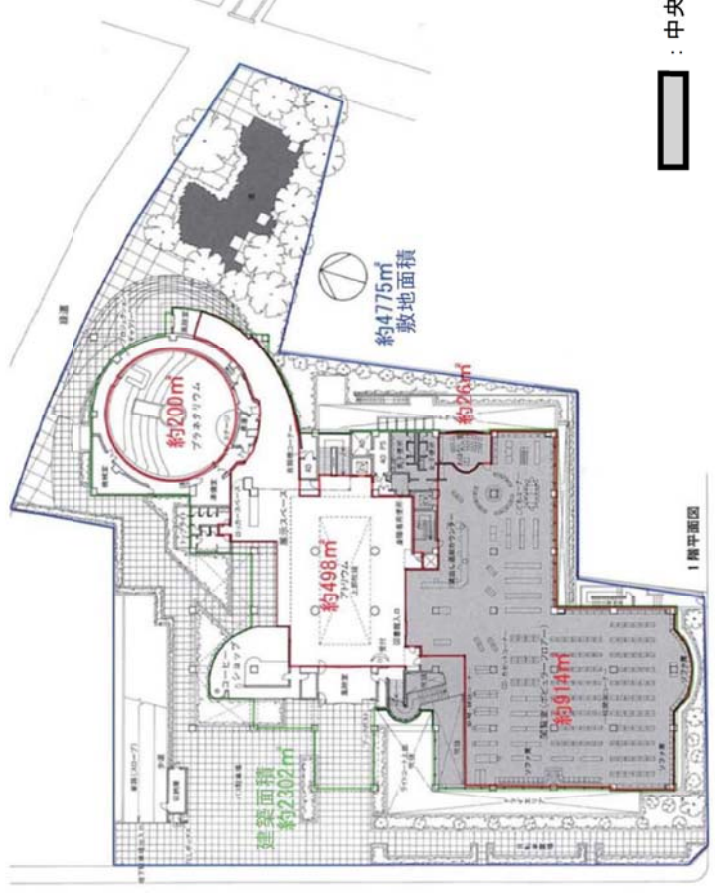
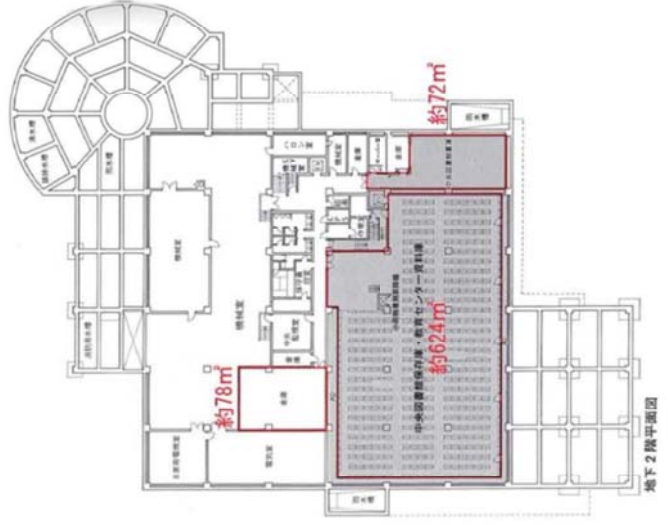
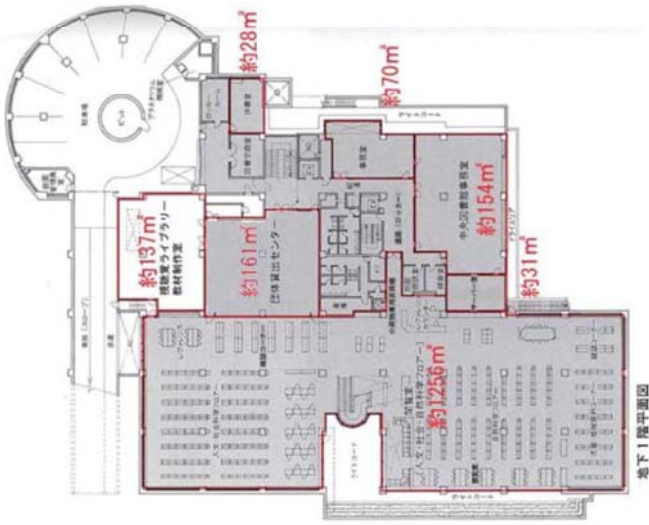
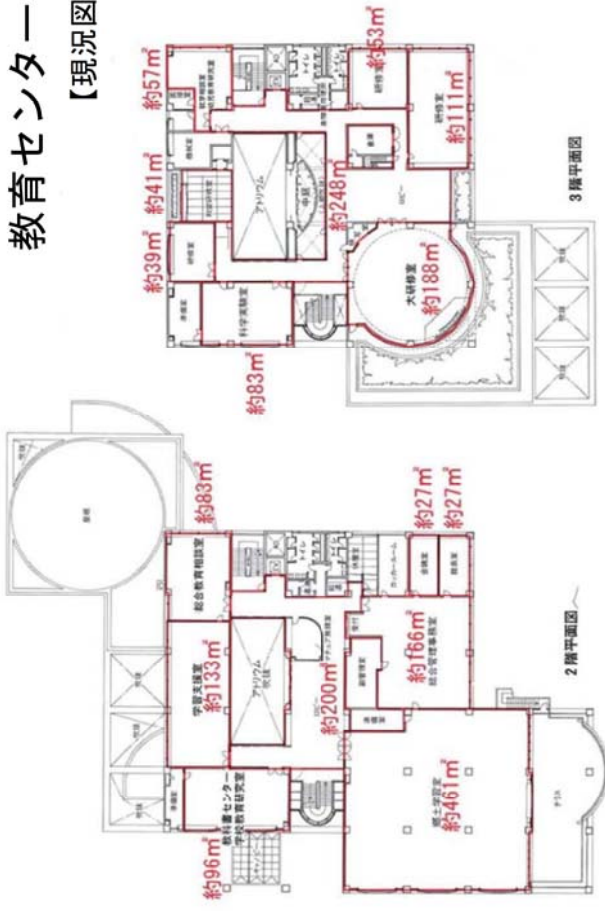
- ：基本構想（案）について
- ：機能拡充に向けた今後の取組みについて
- ：意見交換など

## 4 教育センター平面図

---

# 教育センター一平面図 (1)

【現況図面・各床面積】



：中央図書館エリア





# 教育センター平面図(3) 【構造上の計画条件】



1階平面図

- 凡例
- 機能の移動が困難なエリア
- 構造上撤去が困難な壁



## 5 教育センター床の耐荷重について

### 1. 床の耐荷重について

#### 1 耐荷重の想定

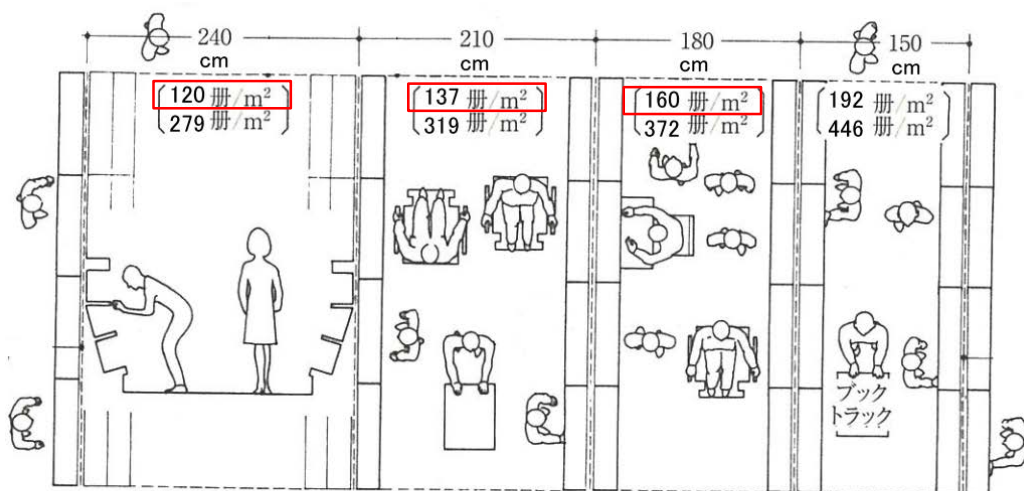
図書館機能を現教育センター機能を有する 2、3 階に拡充する上で、その積載荷重の条件上、どの程度書架を配置できるかについて、以下に整理します。

ここで耐荷重の設定にあたり、構造計算書における積載荷重の設定値より、**教室相当**の耐荷重として検討します。

#### 2 荷重条件上可能な書架の配置

以下の図のように、書架間隔、書架段数に応じた単位面積あたりの荷重が、そのパターンごとに、設定した耐荷重内に収まるかについての確認を行った結果、最大で**低書架 (3 段)、書架間隔 1800~2400mm (通路幅 1200~1800mm)**にて書架を配置することが可能という結果となりました。

※確認申請が必要となった場合、積載荷重の設定値は建築主事の判断により上記の検討値と異なる値とすることが求められる可能性があります。



[ ]内の数値はそれぞれ図中の間隔で配置した場合の収容冊数。  
上段は低書架(3段)、下段は高書架(7段)の場合。

- ※ 「建築設計資料集成〔教育・図書〕」より
- ※          は計算上設置可能となった単位面積あたりの収容冊数





## 2 個人会員・加入団体

「サピエ」は、視覚障害者等の個人会員約1万5千人が直接利用しています。

また、全国の視覚障害者情報提供施設(点字図書館)や公共図書館、ボランティア団体、大学図書館など330を超える施設や団体が加盟して、約8万人以上の視覚障害者、そして、情報を必要とする多くの方々への情報サービスを行っています。

直接利用の個人会員の利用は無料です。施設・団体の会員については年間4万円、書誌データのアップロード・ダウンロードのみで点字データ・デイジーデータなどをダウンロードしない場合は年間2万円となっています。ボランティア団体は年間1万円で利用できます。

東京23区内の会員施設・団体を下記に示します。

表 東京23区内のサピエ会員施設・団体一覧

区	施設・団体名	区	施設・団体名
千代田区	千代田区立千代田図書館	大田区	大田区立障がい者総合サポートセンター 声の図書室
港区	港区立みなと図書館 霊友会法友文庫点字図書館	目黒区	目黒区立目黒本町図書館
	東京都立中央図書館	世田谷区	世田谷点訳奉仕グループてんとうむし 東京都立久我山青光学園
台東区	台東区立中央図書館		信愛福祉協会点字出版部
文京区	東京都立文京盲学校 筑波大学附属視覚特別支援学校		点訳つくし
	文京区立真砂中央図書館	新宿区	日本障害者リハビリテーション協会 新宿区立戸山図書館
北区	点訳サークル六星会 東京都北区立中央図書館		東京都視覚障害者生活支援センター もうでん録音ライブラリー
荒川区	荒川区立南千住図書館		点訳サークル スペース
足立区	足立区立中央図書館		東京ヘレン・ケラー協会点字図書館
葛飾区	葛飾区立中央図書館		中野区立中央図書館
墨田区	点訳きつつき 墨田区立ひきふね図書館		日本盲人会連合点字図書館
江戸川区	江戸川区立中央図書館	中野区	日本点字図書館
江東区	ぶどうの木 ログス点字図書館 江東区立江東図書館	杉並区	点訳サークル スペース
		豊島区	豊島区立中央図書館ひかり文庫 点訳サークルウィズ
品川区	品川区立品川図書館	練馬区	練馬区立光が丘図書館

※サピエ HP より

### 3 利用状況

サピエ図書館では、音声などでもわかりやすいホームページから、点字データ約18万タイトル以上、音声デジータデータ約7万タイトル以上がパソコンや携帯電話によってダウンロードできます。しかも、各館が所蔵する約66万タイトルの膨大な資料が、オンラインリクエストなどによって利用できます。また、必要なデータの集積を順次進めている「地域・生活情報」の利用などによって、さまざまな情報が得られるほか、図書の製作に関する支援も行っています。

#### サピエ図書館

##### 点字・録音図書の書誌情報は全国最大！

「サピエ図書館」は、全国のサピエ会員施設・団体が製作または所蔵する資料の目録ならびに点字・音声図書出版目録からなる、点字図書や録音図書の全国最大の書誌データベース(約66万件)として、広く活用されています。

##### 書誌データの宝庫、視覚障害者等も読書の自由

各種デジータデータのダウンロードやストリーミングができます。

約18万タイトルの点字データや約7万タイトルの音声デジータデータ、約2千タイトルのテキストデジータデータなどを保有し、さらに、毎年約2万タイトルも増加し続けています。

個人会員になると、この点字・デジータデータを、全国どこからでもダウンロードでき、多様な資料を手にすることができます。読みたい本を自由に選んで、直接点字・デジータデータを得られますので、視覚障害者等の読書の自由が広がりました。

また、「オンラインリクエスト」を利用すると、簡単な操作で自宅から点字図書や録音図書の貸し出しを図書館に依頼でき、図書館側の処理も簡単にできます。

##### 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス

サピエIDで、国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスのデータを検索し、コンテンツのダウンロードやストリーミングをすることができます。(音声デジータデータ約8千タイトルをはじめ、多様なデータが増え続けています。)

#### 地域・生活情報

地域に密着した種々の情報を提供します。地元の情報だけでなく、全国から地域やジャンルを選ぶことができ、居ながらにして、全国各地の情報が得られます。

施設・団体は、地元の企業やボランティアの協力を得て、視覚障害者等への地域の情報発信源として、情報提供の幅を広げることができます。

#### 図書製作支援

点字資料や音声資料等の製作の効率化を図るため、インターネットでのデータのやりとりをはじめ、製作者同士が連携しやすいシステムを提供します。また読み方などの下調べに有効なサイトを紹介します。

点訳・音訳のボランティアは誰でも読み方調べの機能を利用できます。

#### ゲストページも充実

どなたでも、サピエ図書館の書誌を検索することや、地域・生活情報の見出しを見ることができます。インターネットから得た情報を地域の情報提供施設に確認できます。「サピエ」は、インターネットを通して、全国の視覚障害者等、ボランティア、情報提供施設・団体をつなぐ「知識」(Sapientia サピエンティア = ラテン語)の広場です。

※サピエ HP より

## 7 東京 23 区内の中央図書館のアクセスについて

東京 23 区内の中央図書館の駐車場・駐輪場の整備状況及び公共交通機関の整備状況について下表の通り整理しました。

東京 23 区内の中央図書館では、世田谷区同様に身障者用のみ設けている事例が多くなっています。一般用の駐車場を整備している事例もありますが、いずれも近接する公共施設等の駐車場と兼用としている事例が多く、図書館単独で整備している事例はありません。

表 東京 23 区内の中央図書館の駐車場・駐輪場及び公共交通の整備状況

図書館名	延床面積	駐車場	駐輪場	公共交通
1 世田谷区立中央	4,134 m <sup>2</sup> (現状)	一般用：なし 身障者用：2台	あり	世田谷線上町駅徒歩 10 分 田園都市線桜新町駅徒歩 10 分 バス弦巻営業所 (渋谷駅・目黒駅～弦巻営業所) 徒歩 1 分 バス松丘交番前 (渋谷駅～祖師ヶ谷大蔵駅・成城学園前駅・調布駅南口、祖師ヶ谷折返所～等々力、田園調布駅～世田谷区民会館) 徒歩 5 分
2 練馬区立光が丘	3,576 m <sup>2</sup>	一般用：なし 身障者用：1台	不明	都営大江戸線「光が丘駅」徒歩 8 分
3 杉並区立中央	4,397 m <sup>2</sup>	一般用：なし 身障者用：あり	不明	JR 中央線、東京メトロ丸の内線「荻窪駅」徒歩 10 分
4 板橋区立中央	2,907 m <sup>2</sup>	なし	不明	東武東上線「ときわ台駅」徒歩 3 分
5 中野区立中央	4,480 m <sup>2</sup>	なし	不明	JR 中央線・総武線、東京メトロ東西線「中野駅」徒歩 7 分
6 渋谷区立中央	4,450 m <sup>2</sup>	一般用：なし 身障者用：あり	あり	JR 山手線「原宿駅」徒歩 5 分 東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前 (原宿) 駅」徒歩 6 分
7 目黒区立八雲中央	3,020 m <sup>2</sup>	20 台 有料 20 分 100 円 (めぐろ区民キャンパス施設駐車場を利用)	不明	東急東横線「都立大学駅」徒歩 7 分
8 北区立中央	6,165 m <sup>2</sup>	一般用：20 台 30 分 150 円 30 分未満無料 身障者用：2台	あり (バイク駐車場あり)	JR 京浜東北線、東京メトロ南北線「王子駅」徒歩 15 分、または王子駅北口 (北とぴあ前) からコミュニティバス「中央図書館」すぐ JR 埼京線「十条駅」徒歩 12 分 JR 京浜東北線「東十条駅」徒歩 12 分
9 豊島区立中央	3,000 m <sup>2</sup>	なし	2 時間無料、以後は 4 時間 100 円 (ライズシティ池袋駐輪場を利用)	東京メトロ有楽町線「東池袋駅」直結 JR「池袋駅」徒歩 8 分



図書館名	延床面積	駐車場	駐輪場	公共交通
10 文京区立 真砂中央	2,893 m <sup>2</sup>	なし	あり	都営三田線「春日駅」 徒歩7分 都営大江戸線、東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目駅」 徒歩7分
11 新宿区立 中央	4,674 m <sup>2</sup>	なし	あり	都営大江戸線「東新宿」 徒歩10分、JR「新大久保駅」 徒歩15分、JR・西武鉄道・東京メトロ「高田馬場駅」 徒歩18分、東京メトロ「西早稲田駅」 徒歩3分
12 港区立 みなと	3,997 m <sup>2</sup>	一般用：なし 身障者用：あり	不明	都営三田線「御成門駅」 徒歩1分
13 品川区立 品川	4,668 m <sup>2</sup>	なし	不明	京浜急行「新馬場駅」 徒歩3分
14 大田区立 大田	2,150 m <sup>2</sup>	一般用：なし 身障者用：あり	あり	東急多摩川線「沼部」 駅 徒歩6分
15 千代田区立 千代田	2,616 m <sup>2</sup>	車：最大53台 (うち身障者用3台) バイク：12台 (30分無料。以降は 30分250円。区役 所駐車場と兼用)	不明	東京メトロ東西線・半蔵門線、都 営新宿線「九段下」 駅 徒歩5分
16 中央区立 京橋	3,059 m <sup>2</sup>	なし	あり	東京メトロ有楽町線「新富町」 駅 徒歩1分、日比谷線「築地」 駅 徒歩5分、都営浅草線「東銀 座」 駅 徒歩7分
17 台東区立 中央	3,844 m <sup>2</sup>	27台 (30分200円。以 降は15分100円 (8:00-22:00)、 1時間 ¥100(22:00-翌 8:00)。生涯学習セン ター駐車場を利用)	不明	日比谷線入谷駅 徒歩8分 つくばエクスプレス浅草駅 徒歩 5分
18 足立区立 中央	6,537 m <sup>2</sup>	一般用：57台 身障者用：5台 (30分100円。併 設の学びピア21施設 駐車場を利用)	あり	JR常磐線、東京メトロ千代田 線・日比谷線、東武スカイツリー ライン、つくばエクスプレス「北 千住駅」 徒歩15分
19 荒川区立 南千住	2,686 m <sup>2</sup>	8台(無料)	不明	JR常磐線、東京メトロ日比谷線、 つくばエクスプレス「南千住駅」 徒歩10分
20 墨田区立 ひきふね	3,393 m <sup>2</sup>	一般用：12台 身障者用：1台 (30分無料、以降は 30分150円)	91台 バイク5台	東武スカイツリーライン、東武亀 戸線「曳船駅」 徒歩5分、京成 押上線「京成曳舟駅」 徒歩3分
21 江東区立 江東	4,935 m <sup>2</sup>	なし	あり	東京メトロ東西線「南砂町駅」 徒 6分
22 葛飾区立 中央	5,078 m <sup>2</sup>	なし (同ビル内に有料の 公共駐車場256台分 有)	なし (同ビル内の駐輪 場を利用3時間 無料)	JR常磐線、京成金町線「金町駅」 徒歩2分
23 江戸川区立 中央	7,500 m <sup>2</sup>	20台 (1時間200円、以 後は1時間100円)	あり	JR総武線「新小岩」 徒歩20 分、または都営バス「江戸川高校 前」・「江戸川区役所前」 徒歩5分

※HP等より



## 8 公立図書館の中央図書館等の現況及び施設整備事例

---

- ① 千代田区立千代田図書館（東京都 千代田区）
- ② 葛飾区立中央図書館（東京都 葛飾区）
- ③ 北区立中央図書館（東京都 北区）
- ④ 大阪市立中央図書館（大阪府 大阪市）
- ⑤ せんだいメディアテーク（宮城県 仙台市）
- ⑥ 武蔵野プレイス（東京都 武蔵野市）
- ⑦ 浦安市立中央図書館（千葉県 浦安市）
- ⑧ 伊万里市民図書館（佐賀県 伊万里市）
- ⑨ 札幌市中央図書館（北海道 札幌市）
- ⑩ 千葉市中央図書館（千葉県 千葉市）
- ⑪ 岡崎市図書館交流プラザ（愛知県 岡崎市）
- ⑫ ほんぽーと中央図書館（新潟県 新潟市）
- ⑬ 秋田県立図書館（秋田県 秋田市）
- ⑭ 練馬区立南田中図書館（東京都 練馬区）
- ⑮ 所沢市立所沢図書館（埼玉県 所沢市）
- ⑯ 長久手市中央図書館（愛知県 長久手市）
- ⑰ 鯖江市文化の館（福井県 鯖江市）
- ⑱ 稲城市立中央図書館（東京都 稲城市）
- ⑲ 田原市中央図書館（愛知県 田原市）
- ⑳ 延岡市立図書館（宮崎県 延岡市）
- ㉑ 和泉市立和泉図書館（大阪府 和泉市）
- ㉒ 伊那市図書館（長野県 伊那市）
- ㉓ 東近江市立八日市図書館（滋賀県 東近江市）
- ㉔ 白河市立図書館（福島県 白河市）
- ㉕ 静岡市御幸町図書館（静岡県 静岡市）
- ㉖ 愛荘町立愛知川図書館（滋賀県 愛知郡愛荘町）
- ㉗ ことば蔵（兵庫県 伊丹市）
- ㉘ 海士町中央図書館（島根県 隠岐郡）
- ㉙ 岐阜市立中央図書館（岐阜県 岐阜市）



**図書館名②** : 葛飾区立中央図書館【東京都 葛飾区】

コンセプト・基本理念 : 『交流』をキーワードに、家族連れから働く人や専門的な分野にも対応した、機能性とゆとりを生かした知的文化の拠点

図書館の特徴・概要 : 駅前の再開発ビル内にあるワンフロア構成の図書館

具体的な特徴・概要

① 「まち」をイメージした開架スペース

広い開架空間をわかりやすい構成とするため、中央を貫く「図書館ストリート」を設置している。利用者の大きな流れに沿って配架を展開すると同時に、随所に町並みのような「かつしかコーナー」、予約資料コーナー、閲覧席等を配置している。

② ユニバーサルデザインを取り入れた図書館

中央を貫く「図書館ストリート」は車いす利用者も通りやすくなっている。また、視覚障がい者のための案内版の設置等、ユニバーサルデザインを取り入れたつくりとなっている。

また、視覚障がい者の方が、決まった周波数に合わせれば、カウンターや対面朗読室などを案内する「てくてくラジオ」を含む様々な図書支援サービスを取り入れている。

③ 充実した読書席の設置

開架スペースにはテーブル席、グループ席、一人用席やスツールなど 450 席の読書席を確保し、利用者の目的や気分に合わせて自分のお気に入りを自由に選べ、多様な読書スタイルに対応することができる。



外観【複合ビル】



内観【図書館ストリート】



読書席

(出典：葛飾区 HP)

基礎データ

開館年月	:平成 21 年 10 月	蔵書数	:362 千冊※	延床面積	:5,078 m <sup>2</sup> ※
開館時間	:9:00~22:00 (日・祝 20:00 まで)	主な休館日	:第 4 木曜日		
運営形態	:直営				
中央館／分館	:中央館	単独施設・複合施設	:複合施設(マンション、店舗等)		
登録者数	:53.8 千人※	市町の人口	:435(千人)※		
アクセス方法	:JR「金町駅」、京成電鉄「京成金町駅」より徒歩 2 分(駐車場無:同ビル内に有料公共駐車場 256 台分有)				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より





**図書館名④** : **大阪市立中央図書館【大阪府 大阪市】**

コンセプト・基本理念 : いつでも・どこでも・だれもが課題解決に必要な情報にアクセス可能な、創造都市の知識・情報基盤となる図書館

図書館の特徴・概要 : レファレンス、電子書籍等の情報提供を重視する図書館

具体的な特徴・概要

① 高度なレファレンス機能

新聞記事や判例など各種商用データベースの提供、メールでのレファレンスの受付、レファレンス事例のデータベース公開や、ビジネス支援情報や法律・医療情報の提供など、レファレンス機能を充実させることで、地域の情報拠点化を推進している。

② 電子書籍提供サービス

図書館の開館時間にかかわらず、自宅のパソコンから利用できる電子書籍サービスの提供を行っている。また、これまで館内のみで利用できた事典類なども、自宅で利用できる。日本語だけでなく外国語の書籍も提供されている。

③ 子どもの読書活動の推進

「大阪市子ども読書活動推進計画」の策定に伴い、地域や学校と連携して子どもの読書活動を推進し、読書環境の整備を行っている。また若い世代に読書の魅力を伝える新たな試みとして、「書評漫才（SBR）グランプリ」を開催した。その結果、普段図書館に来館しない層に働きかけることができた。



外観



書評漫才（SBR）グランプリの様子

(出典：大阪市立図書館 HP)

基礎データ

開館年月	:平成 8 年 7 月 (リニューアルオープン)	蔵書数	:2,020 千冊※	延床面積	:34,533 m <sup>2</sup> ※
開館時間	:9:15~20:30(月~金) 9:15~17:00(土・日・祝)	主な休館日	:第 1・3 木曜日、年末年始		
運営形態	:直営				
中央館／分館	:中央館	単独施設・複合施設	:単独施設		
登録者数	:180.6 千人※	市町の人口	:2,538(千人)※		
アクセス方法	:地下鉄千日前線「長堀鶴見緑地線西長堀駅」より徒歩すぐ(駐車場有:約 50 台分、7:00-20:00 200 円/30 分 20:00-7:00 100 円/1 時間 利用時間内最大 1,000 円、日をまたぐ際は 1 回 500 円)				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より

**図書館名⑤** **： せんだいメディアテーク【宮城県 仙台市】**

コンセプト・基本理念 **： 最先端の知と文化を提供すること、ネットワークの利点を最大限に活用すること、あらゆる障壁（バリア）から自由であること**

図書館の特徴・概要 **： 図書館と映像メディアセンター、市民ギャラリーなどを備えた複合施設**

**具体的な特徴・概要**

**① すべての人に開かれた情報の拠点**

録音図書や字幕入りビデオの貸し出しなど、目や耳が不自由な方への情報提供サービスが積極的に行われている。

**② 表現の空間の提供**

館内には多様な活動形態に対応したギャラリーやシアターを備え、美術・映像に関する展示や発表に利用することができる。

**③ 多様なプロジェクト**

7階スタジオは、様々な情報発信や創造的活動の場となっており、特に 2011 年以降は「3がつ11にちをわすれないためにセンター」が開かれ、震災記録の集積拠点となっている。また、「考えるテーブル」は震災復興や地域社会、表現活動について語り合う場として機能している。

**④ 自由を体現する建築と空間デザイン**

上下をつなぐ中空のチューブと、フロアの薄いプレート、外側を覆うガラスのスキンで構成された建築は、内側と外側、上と下、健常者と障害者、運営者と利用者などといったバリアをとりのぞき、メディアを介してすべてが一体化していくという考え方を体現している。外側からは内部の活動が見え、生き生きとした空間がデザインされている。



外観



書架・閲覧席



スタジオ



ギャラリー

7F：スタジオ
6F：ギャラリー4200
5F：ギャラリー3300
4F：仙台市民図書館
3F：仙台市民図書館
2F：ライブラリー
1F：プラザ
B1F：駐車場など
B2F：保存書庫など

(出典：せんだいメディアテーク HP)

**基礎データ**

開館年月	:平成 13 年 1 月移転	蔵書数	516 千冊	延床面積	3,750 m <sup>2</sup> ※
開館時間	:10:00~20:00(火~金) 10:00~18:00(土・日・祝)	主な休館日	:月曜日、休日の翌日、年末年始(12/28~1/4)		
運営形態	:指定管理者(公益財団法人仙台市市民文化事業団)				
中央館/分館	:中央館	単独施設・複合施設	:複合施設(ギャラリー、スタジオ、店舗等)		
登録者数	-	市町の人口	:1,012(千人)※		
アクセス方法	:地下鉄「勾当台公園駅」徒歩 6 分(駐車場有:64 台 200 円/1 時間、2 時間以降 150 円/30 分)				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より















**図書館名①** **：岡崎市図書館交流プラザ【愛知県 岡崎市】**

コンセプト・基本理念 市民が気軽に訪れることのできる「まちの縁側空間」

図書館の特徴・概要 市民・行政・設計者が一緒になって、設計から運営まですべてのプロセスをワークショップを開催しながら計画  
図書館・生涯学習施設の各機能をゆるやかにゾーニングしなら視線が連続する一体感のある空間

具体的な特徴・概要

① **りぶら映像アーカイブスの導入**

NHKのニュース映像や、岡崎市内の懐かしい写真を見ることができる。  
動画は160番組、写真は120点見ることができる。



りぶら映像アーカイブス（出典：あいちの文化探し隊 HP）

② **郷土コレクション（地域資料）**

地域にゆかりのある人物に関する図書資料を充実させている。

③ **ブックスタート事業**

赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動として、平成22年11月から実施している。

- ・ 対象者：生後6か月以上1歳6か月未満の乳児、及びその保護者
- ・ 実施方法：保健所におけるポリオワクチン予防接種終了後に、読み聞かせを行い、絵本を手渡す。
- ・ 手渡す物：絵本 1冊「いないいないばあ」、イラストアドバイス集、図書館利用案内、貸出証交付申請書、絵本リスト、おはなし会案内、子育てだより「すくすく」、コットンバッグ
- ・ 実施体制：図書館、保健所が連携し、ボランティアと協働で実施



外観

《平成 23 年度実績》

- 実施回数：予防接種会場（岡崎げんき館）・・・96 回（月・水・金曜日）
- 中央図書館 子ども図書室おはなしのへや・・・39 回（木曜日他）
- 実施人数：3,257 人

【参考】明石映像アーカイブス（明石市立文化博物館）

昭和の明石から現在までを映像で見られる「明石市映像アーカイブス」システムを設置している。

- NHK が過去に放送、保存している明石関連の番組、ニュース等を年代別や事柄（例＝明石海峡大橋・たまご焼き等）別に検索しながら視聴できるシステム。
- 映像素材をデジタル化しているため、ハイビジョンディスプレイで鮮やかな画像を見る事ができる。



（出典：岡崎市立図書館HP）

基礎データ

開館年月	:平成 20 年 11 月	蔵書数	:672 千冊(平成 24 年 度)AV 資料等含む	延床面積	: 23,422 m <sup>2</sup> (図書館 7,895 m <sup>2</sup> )
開館時間	:9:00~21:00(木~火)	主な休館日	:水曜日、年末年始(12/29~1/3)		
運営形態	:直営				
中央館/分館	:中央館	単独施設・複合施設	:複合施設		
登録者数	:136.3 千人	市町の人口	:383(千人)		
アクセス方法	名鉄 名古屋本線 東岡崎駅下車徒歩約 20 分、名鉄バス『図書館交流プラザ』バス停車 名鉄 名古屋本線 岡崎公園前、愛知環状鉄道中岡崎駅より徒歩約 15 分)、まちバス「東西ルート」『図書館交流プラザ』バス停車				



**図書館名⑫** : **ほんぽーと中央図書館（新潟市立中央図書館）【新潟県 新潟市】**

コンセプト・基本理念 : 心豊かな都市づくりを支える市民の身近な学びと情報の拠点

図書館の特徴・概要 : 幅広い資料を収集し、市民に提供する図書館

具体的な特徴・概要

① 充実したビジネス支援サービス

パソコン・マーケティングなどの仕事に役立つ資料を集めたビジネス支援コーナーや、オンラインデータベースなどによる情報提供に加えて、起業や経営に関する専門家を招いた相談会も実施している。

② 地域資料に関する多様な資料コーナー

坂口安吾や會津ハルなど新潟市にゆかりのある人物に関連する資料を紹介する「特別コレクション室」、4万冊の絵本や物語を揃えた「こどもとしゃかん」、新潟市出身の漫画家の作品など 8000冊を揃えた「マンガコーナー」など、多様な種類の資料を揃えたコーナーを設けている。

③ 目的に合わせたスペースの充実

開放的な休憩コーナーやカフェのほか、読書やパソコン利用のための学習室、園児・児童のためのグループ学習室、150人収容の多目的ホールなど、様々な目的に合わせたスペースが充実している。



外観



内観



カフェ

(出典：新潟市立中央図書館 HP)

基礎データ

開館年月	:平成 19 年 10 月	蔵書数	:479 千冊※	延床面積	:9,132 m <sup>2</sup> ※
開館時間	:10:00~20:00(月~土) 10:00~17:00(日・祝)	主な休館日	:第 2 金曜日、第 1 水曜日、年末年始(12/29~1/3)		
運営形態	:直営				
中央館／分館	:中央館	単独施設・複合施設	:単独施設		
登録者数	:63.0 千人※	市町の人口	:803(千人)※		
アクセス方法	:JR「新潟駅」より徒歩 10 分(駐車場有:100 台、最初の 30 分無料 以降 100 円/30 分)				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より

























**図書館名②**                    **：伊那市図書館【長野県 伊那市】**

コンセプト・基本理念        **：伊那谷という「屋根のない博物館」の中で、人々が交流し、新しい知を育む「屋根のある広場」としての図書館**

図書館の特徴・概要         **：市民協働型でつくるアプリによる地域資源の活用を推進する図書館**

**具体的な特徴・概要**

**地域情報のデジタルアーカイブ化**

これまで、図書館やその他公共施設に蓄積されてきた古地図などの地域資料は、分散しており統合的にアクセスできる仕組みが存在しなかった。プロジェクト「高遠ぶらり」では、古地図をデジタル化し、iPhone/iPad用のアプリでGPSによる位置情報と共に利用できるようにしたり、史跡などの情報も合わせて表示できるようにすることで、学習や観光に役立てられるようにした。

また、アプリを利用したウォークラリーなどのプログラムは、観光客や小学校・ボーイスカウトの地域学習などに提供されている。地元の高校ではデジタルコンテンツの制作を通じた地域情報の収集・発信の授業に活用され、成果物は実際に観光マップに掲載された。

※プロジェクトのオーナーは伊那図書館であるが、アプリケーションの制作過程においては市民が主体となって参加型の講座が行われている。



外観



アプリ画面



小学生向けウォークラリー

(出典：伊那市HP、高遠ぶらりHP <http://takato-burari.info/>)

**基礎データ**

開館年月	:平成6年	蔵書数	:290千冊	延床面積	:3,025㎡※
開館時間	:10:00~19:00(火~日)	主な休館日	:月曜日、最終火曜日、年末年始(12/29~1/4)		
運営形態	:直営				
中央館/分館	:中央館	単独施設・複合施設	:単独施設		
登録者数	:49.2千人	市町の人口	70(千人)※		
アクセス方法	:JR「伊那市駅」より徒歩3分(駐車場有:80台)				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より

**図書館名②** : 東近江市立八日市図書館【滋賀県 東近江市】

コンセプト・基本理念 : 「市民の“広場”としての図書館」、「地球と人にやさしい図書館」、「職員と市民が協働して作っていく図書館」など

図書館の特徴・概要 : 市民が運営するコーヒーコーナーやリサイクルショップを設置

具体的な特徴・概要

① 自然環境を考えるコーナー「風倒木」

2階に設けられた「風倒木」のコーナーには、自然や環境に関する本や雑誌、写真集などが揃っているほか、人と自然をテーマにした、プロによる絵画・写真・書などの作品の貸し出しもおこなっている。

② 市民グループによるコーヒーコーナー

「風倒木」コーナーには、環境問題に関心を持つ市民のグループ「人と自然を考える会」が運営するコーヒーコーナーもあり、地元陶芸家が作ったカップを選んで、無農薬のコーヒーを楽しむことができる。

③ 本のリサイクルショップ「ぶっくる」

「風倒木」コーナーには、同じく「人と自然を考える会」が運営する本のリサイクルショップ「ぶっくる」がある。図書館に収容できなくなった本や古くても利用価値のある本など、常時 6000 冊の本が置かれ、1冊 20～50 円で販売されている。



外観



内観

(出典：東近江市 HP、東近江市立図書館 HP、文部科学省 HP)

基礎データ

開館年月	: 昭和 60 年 7 月	蔵書数	: 293 千冊※	延床面積	: 2,289 m <sup>2</sup> ※
開館時間	: 10:00～18:00(火～日)	主な休館日	: 月曜日、祝日、第 4 木曜日、年末年始(12/28～1/4)		
運営形態	: 直営				
中央館／分館	: 中央館	単独施設・複合施設	: 単独施設		
登録者数	: 57.7 千人※	市町の人口	: 114 千人※		
アクセス方法	: 近江鉄道八日市線「八日市駅」より徒歩 15 分(駐車場有: 80 台)				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より

**図書館名④** : 白河市立図書館【福島県 白河市】

コンセプト・基本理念 : 街づくりと人づくりの拠点

図書館の特徴・概要 : 図書館利用に関して自由度が高く、開放的な図書館

具体的な特徴・概要

① IC タグによる自動貸し出し

資料にはすべてIC タグがついており、自動貸出機を設置しているため、利用者が自分で貸し出し処理を行うことができ、処理がスピーディなだけでなく、プライバシーも守れる。

② 貸出冊数は無制限

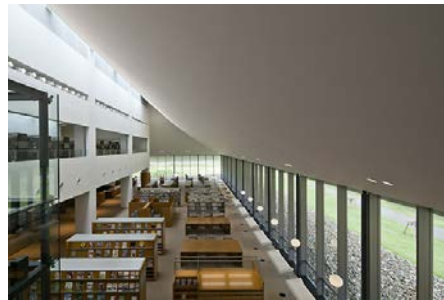
視聴覚資料を除く資料の貸し出し冊数は「21 日で読める冊数」と定めており、特に制限は設けていない。サービスの自由度が高い背景には、「図書館は社会の一部」として自立を促す考えがある。

③ 明るく開放的な滞在型図書館

城下町の景観に配慮した勾配屋根を採用し、局面天井や光の演出などで内部空間に変化を与えている。また、地域のコンテクストを意識して開口部を定め、季節・時間の変化を感じられる滞在型の図書館となること、開放的なランドスケープとして市民に開かれた場所になることを目指して設計された。



外観



内観

(出典：第一工房 HP)

基礎データ

開館年月	: 平成 23 年 7 月 (移転オープン)	蔵書数	: 142 千冊※	延床面積	: 2,734 m <sup>2</sup> ※
開館時間	: 10:00~20:00(火~金) 9:30~18:00(土・日・祝)	主な休館日	: 月曜日、第 1 水曜日、年末年始		
運営形態	: 直営				
中央館/分館	: 中央館	単独施設・複合施設	: 単独施設		
登録者数	: 11.2 千人※	市町の人口	: 65 千人※		
アクセス方法	: 東北本線「白河駅」より徒歩 5 分(駐車場有:206 台)				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より







**図書館名②⑥** : **愛荘町立愛知川図書館【滋賀県 愛知郡愛荘町】**

コンセプト・基本理念 : いつでもどこでも誰でも学べる「町じゅう生涯学習」の基盤づくりに努める

図書館の特徴・概要 : 単なる来訪者への資料提供に留まらず、積極的にまちづくりに取り組む図書館

**具体的な特徴・概要**

**① 町関連資料収集の取り組み**

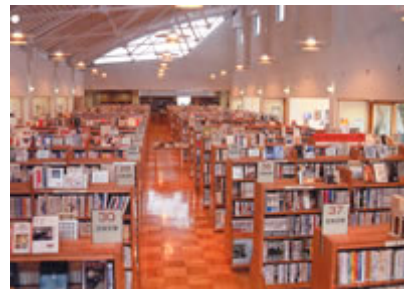
館内では、町に関連した資料を積極的に収集しており、テーマごとに見やすく分類してそれぞれのコーナーに配架している。各自治会のコーナー、町内の企業のコーナーや、中山道関連の資料のコーナーのほか、求人案内や、日々の新聞の折り込み広告など生活に関連した資料のコーナーも設けている。

**② 「まちのこしカード」**

「まちのこしカード」は、愛知川町内の歴史的、文化的、自然的な地域資源を記録し地域の財産目録として活用するというエコミュージアムの手法を取り入れたものである。愛知川町では、これにさらに図書館の基本的な業務である地域資料の収集、保存、活用の働きを加えたシステムにしている。身近な地域の資産の発見・調査情報を利用者が記載し、ファイルに収集保管されたカード情報をいつでも検索できるシステムである。記載された情報の時間、場所、形状、数量等の事実の記録そのものが時間とともに大きな価値となるのである。単なる「地域の宝探し」で終わるのではなく正確な情報が収集・記録できるように、あくまでも事実に立脚した情報収集となるような配慮をしている。



外観



内観

(出典：文部科学省 HP 「図書館とまちづくり (滋賀県愛知川町立図書館)」)

**基礎データ**

開館年月	: 不明	蔵書数	: 214 千冊※	延床面積	: 1,686 m <sup>2</sup> ※
開館時間	: 10:00~18:00(水~日)	主な休館日	: 月曜日、火曜日、祝日、最終水曜日、年末年始		
運営形態	: 直営				
中央館/分館	: 中央館	単独施設・複合施設	: 複合施設(びんてまりの館)		
登録者数	: 28,097 人※	市町の人口	: 19.9 千人※		
アクセス方法	: 近江鉄道「愛知川駅」より徒歩 7 分(駐車場有: 台数不明)				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より

**図書館名①** : **ことば蔵（伊丹市立図書館）【兵庫県 伊丹市】**

コンセプト・基本理念 : 本と出会い、ことばを交わす「公園のような図書館」

図書館の特徴・概要 : 従来の図書館機能に加え、人と人が語り合い、交流できる場としての機能を備えている図書館

具体的な特徴・概要

① **利用者参加型運営の「交流フロア」**

1階はフロア全体がイベントスペースの「交流フロア」となっている。「交流フロア」の利用ルールやイベントの企画は、だれでも自由に参加できる「ことば蔵交流フロア運営会議」で決めている。

② **本を通じた交流「カエボン」**

「カエボン」とは、「運営会議」から生まれた企画の1つで、自分のおすすめの本を持参し、自作の帯をつけて他の人のおすすめの本と交換できる仕組み。市民が主体となり、まちの活性化や図書館の利用促進、読書環境の充実を図っていることが評価され、「マイクロ・ライブラリーアワード」を受賞している。



外観



カエボン棚

(出典：伊丹市 HP)

基礎データ

開館年月	:平成 24 年 7 月	蔵書数	:353 千冊※	延床面積	:6,194 ㎡
開館時間	:9:30~20:00(火~金) 9:30~18:00(土・日・祝)	主な休館日	:月曜日、第 1 木曜日、年末年始(12/29~1/3)		
運営形態	:直営				
中央館/分館	:中央館	単独施設・複合施設	:単独施設		
登録者数	:52.3 千人※	市町の人口	:197,749 人(平成 26 年 9 月 1 日現在)		
アクセス方法	:JR「伊丹駅」より徒歩 15 分(駐車場無)				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より

**図書館名⑳** : **海士町中央図書館【島根県 隠岐郡】**

コンセプト・基本理念 : 既存の公共施設を図書分館として整備し、それをネットワーク化した「島まるごと図書館」の中心

図書館の特徴・概要 : 地域住民がつくりあげた地域密着型の図書館

**具体的な特徴・概要**

**① 「島まるごと図書館構想」の策定**

海士町中央図書館は、地区公民館や港、診療所などの人が集まる場所や学校図書館を「図書分館」と位置づけ、それらをネットワーク化することで、島全体を一つの『図書館』とする「島まるごと図書館構想」の中核として開設された図書館である。

海士町は、町の高齢化・過疎化を受けて「持続可能な地域社会をつくる『人間力』溢れる人づくり」の推進に取り組んでおり、その中で「読書活動」を重点施策として位置づけている。それまで図書館がなく、どのように島民に本を提供していくかという課題を抱えていた町が打ち出したのが、限られた予算で最大限の効果を生むための「島まるごと図書館構想」であった。

**② 住民からなる委員会の設置**

図書館の事業実施にあたっては、「島まるごと図書館運営委員会」等の組織が関わっている。委員にはまちづくり団体等が入っており、その他組織となる「地域部会」には地域住民が入り、事業の企画等を行っている。



外観



田んぼの景色が見える閲覧席



ガーデンテラス

(出典：海士町中央図書館 HP、海士町 HP)

**基礎データ**

開館年月	:平成 22 年 10 月	蔵書数	:14 千冊※	延床面積	:200 m <sup>2</sup> ※
開館時間	:9:00~18:00(火~金) 9:00~17:00(土・日・祝)	主な休館日	:月曜日、年末年始		
運営形態	:直営				
中央館／分館	:中央館	単独施設・複合施設	:複合施設(海士町中央公民館)		
登録者数	:470 人※	市町の人口	:2.3(千人)※		
アクセス方法	:菱浦港から車で 8 分				

※「日本の図書館 統計と名簿 2012」より

**図書館名⑳** : **岐阜市立中央図書館【岐阜県 岐阜市】**

コンセプト・基本理念 : 市民が集う「知」と「文化」創造の森  
-人が育つ図書館、人が育てる図書館-

図書館の特徴・概要 : **新しいまちの拠点機能の一つとしての中央図書館**  
3つの拠点機能を持つ複合施設「みんなの森ぎふメディアコスモス」の「知の拠点」を担う機能としての中央図書館。ほかに「文化の拠点（多文化交流プラザ）」、「絆の拠点（市民活動交流センター）」からなる。

具体的な特徴・概要

③ **学校連携**

ぎふメディアコスモス1階の図書館事務室横に学校連携室を設置。資料の貸出やレファレンス、学校図書館運営についての相談を受け付けている。

④ **ビジネス支援事業**

- ・ビジネス支援コーナー：国や県、岐阜市の関係機関等が発行している冊子やパンフレット等を収集し提供
- ・支援セミナー：起業を志す方に向けた入門編のセミナーや、起業に向けた具体的な実務に関するセミナーを無料で開催
- ・経営相談：図書館カウンターで「創業・経営相談窓口」を開催（週1回）

⑤ **みんなの図書館 「おとなの夜学」**

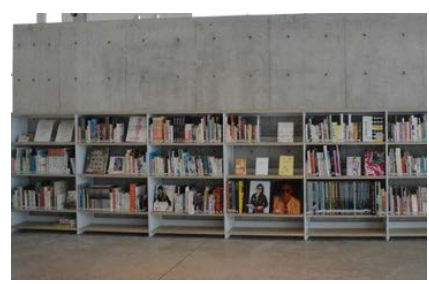
岐阜の郷土文化にまつわるいろいろなことを学ぶ講座の開催。



外観



内観



ファッションコーナー



インターネット席



みる・きくシート



学校連携室

(出典：岐阜市中央図書館 HP、岐阜市 HP)

基礎データ

開館年月	:平成 27 年 7 月	蔵書数	:300 千冊(開館時)	延床面積	:約 9,400 m <sup>2</sup>
開館時間	:9:00~20:00	主な休館日	:毎月最終火曜日、年末年始		
運営形態	:直営				
中央館/分館	:中央館	単独施設・複合施設	:複合施設(みんなの森ぎふメディアコスモス)		
登録者数	:-人	市町の人口	:413(千人)		
アクセス方法	: JR 岐阜駅または名鉄岐阜駅から約 15 分				